

関東甲信越支部長活動報告

2010年6月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

6月に入り、名実ともに新体制による本格的な活動が始まりました。JIA 本部執行部から組織再編を見据えた委員会活動の再編案が提案され、「組織再編諮問会議」「法・資格制度諮問会議」「財政再建諮問会議」という3つの諮問会議を中心に構成される委員会編成案が本部理事会において承認されました。JIA が選択する法人形態については、組織再編諮問会議での2009年度決算の公益事業仕分け結果を待って関東甲信越支部で会員集会を9月までに開き、議論を深めたいと考えています。7月29日にUIA 本部理事会が日本で開催されます。理事会の後UIAの日本支部であるJIA 主催によるレセプションパーティーが木材会館で開催され、約50人の海外建築家を迎える事になります。会員の皆さんの中で国際交流に興味のある方はぜひご協力いただきたいと思いますので支部事務局までご一報下さい。

支部長活動報告

- 2日 イタリア大使公邸でNational Day Party が素晴らしい天気の下、催された。イタリア駐日大使はUIA 東京大会へ可能な限り協力することを表明されている。
- 3日 JOB 広報部会 WEB 編集会議が開かれた。来年の大会を前に、公式プログラムであるコンペティションが8月以降に始まる。予告広報の必要性が取り上げられ、具体的に進めることにする。
- 5日 第19回東京都学生卒業設計コンクールが工学院大学新宿キャンパスで開催された。今年は都内26大学、55作品が展示され、北山恒氏を審査委員長とする5人の審査委員により公開審査が行われた。
- 8日 UIA 大会へ向けた関東甲信越支部主催連続シンポジウムについて、パネラー予定者の山本理顕氏、芦原会長を交えてミーティングが行われた。夕刻よりアーキテクト・ガーデン2010 実行委員会が開かれ、テーマ、期日、会場についての協議が行われた。今年のテーマは「デザインという未来」、

- 10月27日～30日を建築家会館、10月31日～11月6日をINAX会場にて開催する。UIA東京大会の300日前イベントとして企画を練っていく予定。
- 9日 総務委員会が開かれ、11月の地域サミットとフレンズカップの予定が重なっているため、地域サミットを11月12,13日に変更した。場所は千葉の予定。
- 10日 昼過ぎより本部定款改定WGが開かれた。全国各支部の公益事業仕分けを総会資料(2009年度決算)を基に暫定的に行った。現在、全国支部、地域会に公益事業仕分けに関する調査をしており、6月末までにその結果が出る予定である。UIA大会支部推進委員会ではJOB各部会横断のヒアリングを経て、大会プログラムを編集した。本部推進委員会の発行として、機関紙「建築家7月号」の別冊として差し込む予定。夕刻より東京地域連携会議に出席し、2011UIA東京大会ツアープログラムについて進め方を協議した。東京エリアのツアーを「東京の建築再発見」として相互補完できるように、東京地域連携会議の下でWGを立ち上げるようになった。
- 15日 本部国際委員会が開かれた。7月28日、29日にUIA本部理事会及びUIA東京大会調整会議が東京で行われる。JIA主催レセプションパーティー準備の役割分担と広報準備について話し合われた。事務局と国際委員会のメンバーだけでは不十分なため、関東甲信越支部に協力要請があった。
- 16日 JIA建築セミナーのオープニングが目白倶楽部で開催された。今年は高橋寛氏、高橋晶子氏を中心に「On Siteー現場で考える」をテーマにしたセミナーが毎月行われていく。
- 17日 芦原新会長体制では「組織再編諮問会議」「法・資格制度諮問会議」「財政再建諮問会議」3つの諮問会議を中心に本部委員会が合理的に再編される予定である。組織再編諮問会議では①法人格②本部、支部、地域会、委員会の位置付けを明確にする③事務局体制の整備④会員制度改革、等の議論を重ねていく。全国支部、地域会から出てきている公益事業仕分けの中間集計を取り纏めたが、支部によって大きなばらつきがある。今後仕分けの仕方について個別に調査していく必要がある。
- 18日 朝、JIAでJOB部会長会議が開かれた。UIA大会への後援希望団体が増えていると報告される。運営規模が明らかになるにつれ予算が膨らむ傾向にあり、今後とも慎重に支出予算を精査していく必要がある。午後、伊豆研修寮にて新旧支部常任幹事会が開かれる。本部組織再編を受けて、支部でも委員会組織の合理化やミッションの確認が求められた。総務委員会を中心に議論を進め、今後支部幹事会で協議を進めることとする。法人格について暫定資料の説明がされたが、支部毎に大きなばらつきがあり、もっと精査してからの説明が求められた。7月29日のUIA本部理事を迎えたJIA

- レセプションパーティーについて、支部4役、常任幹事が会員からの協力者(外国語対応)を募ることを申し合わせた。
- 22日 第1回UIA東京大会全国推進委員会が開かれた。この委員会は芦原会長を委員長とし、全国支部長を委員とする委員会で、各支部にはUIA大会支部推進委員会が設置される。支部推進委員会が編集したUIA大会プログラム冊子をもとに議論したが、各委員(全国支部長)からは具体的にイメージできるようになったと好評を得た。今後、UIA東京大会の準備について中心を担う活発な活動が期待されている。午後、芦原新体制で第1回目となる本部理事会が開かれた。3人の副会長が議長となる3つの諮問会議の管轄下に委員会を構成した、執行部体制の再編案が承認された。今まで34あった委員会が22に集約される。審議、協議はスムーズに進み、3時間半の予定が2時間半で終了した。夕刻よりJSCA構造技術者協会総会懇親会が盛会の内に開かれた。
- 23日 UIA東京大会「東京の建築再発見WG」が開かれた。Open! ArchitectureとJIA東京地域会のコラボレーションの可能性が話し合われた。点の集合としてのOpen! Architectureを利用しながら地域会のネットワークで街に触れる機会を提案するなど、いくつかのまち歩き企画の提案が話し合われた。夕刻、近畿支部青年委員会委員長長尾さんを交えて若手建築家向けセミナーについて意見交換した。近畿支部では2008年にU-40建築コンペを実施し、大きな成功を収めた。その後2009年度より年6回の予定でU-40セミナーを開催している。近畿支部だけでなく全国支部で開催する予定が組まれているが、関東甲信越支部では今後企画を詰めながら10月末に開催されるアーキテクト・ガーデンの企画に入れていくことを考えている。
- 28日 JOB連絡調整会議が開かれた。これは7月6日開催のJOB実行委員会の下話を目的とした、各団体専務理事参加による調整会議である。
- 30日 UIA大会支部連続シンポジウムWGが開かれた。第3回は7月29日14:30-17:30、木材会館で「医師、弁護士、建築家の役割を考える」をテーマに開催される。UIA東京大会支部推進会議が開かれた。支部推進会議には35人の出席者を集め、非常に熱い議論が展開された。

支部長活動報告 2010年6月

2010年6月30日作成 上浪 寛



September 25 - October 1, 2011